

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	3R推進店「めぐるくんの店」推奨	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課
ホームページ	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-5-0-0-	(連絡先)	213-4930
		(評価票作成者)	循環企画課長 牧村 雅史

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
71	-		-	指標: めぐるくんの店認定数
業務運営方法	☒ 直営 ☐ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%110%120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画～京のごみ戦略21～ 京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020) 京都市ごみ減量・リサイクル推進店推奨制度実施要綱			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成 7 年度	終了(予定)時期	平成 22 年度	類型 3 イベント・講座・普及啓発
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 簡易包装の推進、再生品の販売、食品トレイや牛乳パックの店頭回収など、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組んでいる商店
	活 動 内 容	(どのような手段で) 簡易包装の推進、再生品の販売、食品トレイや牛乳パックの店頭回収など、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組む商店を、京都市が「めぐるくんの店」として認定し、ホームページ、ショップガイド等を通じて広く市民に利用を呼びかける。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) めぐるくんの店の認定件数を増やし、市民の利用を促進させることにより、ごみの減量、リサイクルの推進を図る。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算	
	①	事業費	(千円)	67	637	71		
		需用費（冊子印刷経費）		3	461	52		
		通信運搬費（資料等送付）		64	76	19		
	①'	委託料		100				
	②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷①）（％）			15.7%			
	③	人件費（24年度は見込）（千円）		6,402	6,029	4,720		
		職員（課長級）（人）		0.08	0.08	0.06		
		職員（課長補佐級、係長級）（人）		0.16	0.15	0.09		
		職員（係員）（人）		0.44	0.42	0.38		
		嘱託職員等人件費（千円）						
	④	年間経費（①+③）（千円）		6,469	6,666	4,791		
⑤	特定財源（市税等の一般財源以外）（千円）							
	国庫・府支出金（千円）							
	受益者負担分(使用料, 手数料等)（千円）							
	その他()（千円）							
⑥	京都市年間負担経費（④－⑤）（千円）		6,469	6,666	4,791			
⑦	受益者負担率（受益者負担分÷④）（％）		0.0%	0.0%	0.0%			

Ⅱ 評価結果

事業名 3R推進店「めぐるくんの店」
推奨

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	めぐるくんの店認定数	目標値 …①	件	350	350	146		
		実績値 …②	件	156	146	145		
		目標達成度 (②÷①)	%	44.6%	41.7%	99.3%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価	悪い	悪い	良い	
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類			評価				
			総合評価					
指標の選択理由				目標値設定の考え方				
指標1	認定店の増加を目標としており、認定店の数が、当制度の具体的な結果を示すのに最も適当であると考えられるため			平成21年度までは平成12年度以降の最高値を基準としていたが、新規認定店による増と閉店等による減を考慮し、平成22年度は、前年度の実績値を目標として設定する。				
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名			適用年度			単位
指標2								
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名			適用年度			単位
分析	<実績値の変動理由等> 事業開始から15年以上経過し、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組む店舗が一般的になったことから、「めぐるくんの店」に対する注目度が下がり、認定数が低迷している。							
B 効率性	No.	区分			単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	めぐるくんの店認定数			件	156	146	145
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）			千円	6,469	6,666	4,791
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	41,468	45,658	33,039
	④	単位当たり経費変動率					+10.1%	-27.6%
					評価	かなり悪くなった	かなり良くなった	
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が減少したため効率性が良くなった。							
C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等>					
	実施段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
D 市民満足度	<調査の有無>		<調査結果、現状分析等>					
	☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない							
	<調査方法>	<調査時期>						
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> 3Rに積極的に取り組んでいる商店の利用を推奨することにより、環境に配慮した消費行動を促進する。					

平成23年度の実施状況 平成22年度をもって終了又は廃止

市会・監査・外部機関等からの指摘 平成15年6月、厚生委員会において、「認定後のフォローや、認定店の要望をすくい取る機会がない」という指摘を受けた。

Ⅲ 今後の方向性

平成22年度をもって終了又は廃止

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)